

(様式2)新規評価シート

建設部 都市・まちづくり課

事業名	街路事業		路河川名等	(都)東新町座光寺線 <(-)市場桜町線>				
事業毎の通番	1	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	上郷(かみさと)			
事業概要	事業目的	飯田市全域でリニア中央新幹線開通を見据えた交通体系の整備が進められており、当路線においては飯田市街地と(仮称)長野県駅を結ぶ重要なアクセス道路として位置づけられている。しかしながら、現道は幅員狭小であること、また、上郷小学校等をはじめとする教育施設が沿線に点在しているにもかかわらず、歩道が未整備である。 当路線をリニア駅前と一体的に整備することで、歩行者の安全・安心な環境を確保するとともに、市街地からのアクセス交通を円滑化し、都市機能の充実を図る。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造(潤いのあるまち・むらづくり)	事業実施の根拠法令等	都市計画法				
	関連する事業、計画等	<ul style="list-style-type: none"> しあわせ信州創造プラン2.0 飯田都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 長野県リニア活用基本構想(長野県) 						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益対象(不特定多数): (H42推計)計画交通量4,600台/日 (H27センサス11,897台/日)						
	着手年度	2019年度	事業期間	9年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	2027年度	費用対効果	1.1	国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=1,400m、W=6.0(12.0~15.0)m			3,700,000	2,035,000	370,000	1,165,500	129,500
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	幹線街路の整備による交通の円滑化及び安全性の向上 歩道整備による歩行者の安全性の確保 災害に強いまちづくり						
	間接的効果(定量的・定性的)	リニア中央新幹線(仮称)長野県駅へのアクセス道路による地域間交流の促進 安全安心な道路を整備することで、既成市街地の人口流出抑制並びに定住化を図る 無電柱化との同時施工による防災機能向上及び良好なまちなみの創出						
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○H42計画自動車交通量 : 4,600台/日 ○交通結節点アクセス : 飯田市中心市街地とリニア中央新幹線(仮称)長野県への1次アクセス道路 ○地域の特性 : 首都圏や中京圏からの新たな玄関口となる駅周辺環境整備と一体として進める事業 					評価	B
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○関連計画、重点施策との整合 : しあわせ信州創造プラン2.0、飯田都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 ○緊急輸送路の路線指定 : 飯田市緊急輸送路に路線指定 ○無電柱化の推進 : DID地区内、リニア駅周辺地区のため、第8期無電柱化推進計画に位置づけ 					評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○費用対効果(B/C) : 1.1 ○事業期間 : 9年間 ○工法等の比較検討 : 新戸川横断管渠の流用 					評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○近年の交通事故件数 : H27~H29 人身事故 6件、物損事故 73件発生 ○通学路対策 : 上郷小学校の通学路に指定されている ○現況の道路構造 : 現路線の一部で歩道なし、車道幅員W=4.5m ○自転車対策 : 自転車歩行者道に指定が可能 					評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知(H28~H30.5にかけて計4回事業説明会を開催)、H30都市計画決定の変更予定 ○地域の取り組み : リニア駅周辺整備検討会議において、道路の位置付け等を検討している ○地域の合意形成 : 詳細設計について合意形成が図られている ○住民との協働 : 上郷地域リニア対策特別委員会が組織されている。 					評価	A
	所管課意見	当路線は、リニア中央新幹線(仮称)長野県駅と飯田市街地を連絡するものであるが、当該区間は幅員狭小であり、歩道も整備されていないため、リニア駅前と一体的に整備し、都市機能の充実を図る必要がある。			採択状況	○	総合評価	A
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。							

位置図

平面図

標準横断面図

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、飯田市中心市街地と飯田市上郷地区及び座光寺地区を結ぶ幹線街路であるとともに、2027年度開業予定のリニア中央新幹線(仮称)長野県駅へのアクセス道路である。また、飯田市地域防災計画において、緊急輸送路に指定されていることから、早期整備が求められている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、沿線上郷小学校、高陵中学校、飯田高校、飯田女子高校があることから、歩行者の安全確保が求められている。このため、歩行者、自転車利用者の安全な通行空間の確保が、地元より要望されている。
③事業説明等の経緯	先行しているリニア駅周辺地区で平成28年9月ルート説明会、平成29年7月詳細設計、市街地側の地区で平成30年2月ルート説明会、平成30年5月詳細設計の説明会を行い、事業の了解を得ている。また、平成30年度内の都市計画決定の変更に向けて準備をしている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	<ul style="list-style-type: none"> しあわせ信州創造プラン2.0、飯田都市計画都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 長野県リニア活用基本構想(長野県) アクセス道路の整備(国道153号、座光寺SICからのアクセス道路)(長野県) リニア駅周辺整備(飯田市)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○リニア駅周辺地区のため、無電柱化を実施し、良好な都市景観の形成に努める。 ○リニア駅周辺整備事業と連携し、本路線の駅周辺には植樹帯による緑化が計画されている。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化が図られ、良好な都市構造が形成され、快適で魅力ある市街地の形成が期待される。
⑦その他	市街地での街路整備であるため、リニア駅周辺整備を含めた沿道施設の開発計画との調整を十分行い、事業を円滑に進めていく。

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 137° 51' 05" 07
	東経:E 35° 31' 39" 05